

23/3/20 河村たかし名古屋市長定例記者会見（名古屋城関係部分）

名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし

幹事社：まず一点目です。名古屋城天守の木造化についてです。

今年度末を目指して基本計画を策定中だと思います。

大方の内容は既に明らかになってきていると思うんですけども、どのように評価をされていらっしゃるのでしょうか。またその中でその石垣の保全ですとか、基礎構造、バリアフリーとか大きな課題である三つっていうのは、いずれも課題を残すような形になっていますけれども、どのように受け止めていらっしゃるのでしょうか。

2点お願いします。

河村市長：お城の方ですけど先ほども言いましたけど、まあ私も若作りしとるけど74なもんだよ、これ。

名古屋の人にとってそりゃ、まあこれ宝なわけですよ、名古屋のお城というのは。国宝1号だったと。

いうことで名古屋の誇りだったわけです。

1610できたのは4年か5年か2年からたてかけたと思いますけど、まず家康さんでNHKがあるんでやねーかこれ。

大抵、お城を作るとこ、お城を作って、記録はないでいかんけど大抵上に上がったと思います私は一応作った人なんで、ええ。

ほれから大坂夏の陣行きまして、で豊臣家をほろぼしてしまってますね、それからわずか何年だったかな1年か2年で、家康さんなくなると、いうことでございます。

そういう名古屋の宝ということでね、とにかく早く作ってちょういって。死んでまうじゃないかと。という話は何軒からも聞いております。ええ、だからこないだ某新聞にですね、「最短での木造天守の完成の目安が最短で2032年」、あと10年もあるもんだねこれ。

ほれはやめてちょうということで文化庁さんにも、これはやっぱ私も市民の声を届けるのが仕事だもんねこれはわしの徹底的な、これは。文化庁にも届けて丁寧にあるのは丁寧にありますけど、お届けに上がりたいと思っております。

でこの今の10年後の話であるけども、わしもこれ知りませんでした。

この話は、それから松雄副市長も知らなかったということでございまして、

市としてのあの確定した意見ではないと。いうことは断言しておきたいと思えます。

これで24日には、全体整備計画、全体整備検討会議で、いうことで最終的な取りまとめを、有識者の皆さんと一緒にお願いするという。スケジュールになっておりまして、まずあとしかし、石垣の内側のことと、それから建物、天守の下の構造とかいうのは、一旦壊さないとわからんもんねこれ。

7000+ぐらいあると言われておりますけど、このコンクリートの天守は。

だから早く許可をもらって、またそこでどういうふうにしていくかということは、議論はこれ残るのはやむを得ないのですそれはわからんですからこれ内部になっちゃって、という状況でございまして、

まあ一刻もはよう、名古屋の宝、日本の宝、世界の宝をここに蘇らせると、
と同時に大谷くんの大谷さんのサインもですね、このままちょっと横に置くと、いうことでみんな見てもらえるということでございます。
あと何か言ったら、まだ何か言ったか、忘れてまった、

幹事社：すいません。ちょっとすいません特に石垣保存については先週金曜日の石垣文化財部会で、「この状況だと、了承できないと。さらに議論が必要である」と有識者の先生方からご意見が出たかと思うんですけど、その状況で、今週の金曜日に最終的な取りまとめという扱いとして市としてはする方向で考えているんでしょうか。

河村市長：まあ、あのう 本当かね

名古屋城：いろいろご心配をおかけしておりますすいません。

先週の石垣埋蔵文化財部会で、厳しいご意見をいただき、ご指摘をいただいております。まで石垣埋蔵文化財部会におきましては、いろいろご指導をいただきまして、調査等を進めてまいりました。

今回ですね、先週の金曜日に石垣埋蔵文化財部会におきまして、我々の方が提出いたしましたものは、石垣保存、石垣、石垣保存方針ですねすいません。石垣保存方針という形で、これまでやってきました調査、そういったものをですね、まとめという形で提出しましたが、石垣部会の方からですね、「文化庁へ提出するに当たっては、まだ合格できるような状態ではない」ということで、ご心配と、今後しっかり議論をした上で、それをまとめて、文科省の方に提出するようにしたいということで我々は思っておりますので、

今回 24 日に全体整備検討会議にお諮りする資料につきましては、その石垣埋蔵文化財部会の場でも説明をさせていただきましたが、今回のもの、以前のもの、既に出したものがありますので、それで一旦は提出すると。

で、それ以降ですね、石垣埋蔵文化財部会のご指摘を踏まえまして、合格点になるように、石垣丸文化財部会の先生方にしっかりご相談ご指導いただきまして、それを整えていきたいというふうに思っております。

河村市長：ということですか。

幹事社：わかりました。ありがとうございます。

NHK:NHK です。はいちょっと名古屋城の話に戻るんですが、先ほど細かい経緯についてご担当の主幹から説明あったと思うんですが、元々この3月末で基本計画とりまとめると我々の話伺った、委員会とかでも伺ったと思うんですが、一方でこの石垣部会の話はちょっと少なくとも3月24日までにはまとまらなそうなふうに我々受け止めてる。私受け止めてるんですが、もちろんスケジュールありきではないと思いますが24日にこう完全のというか、ある程度の形は石垣についてはまだ、特に穴蔵石垣は反映されない形で出てくることについて、何かスケジュールのことについて何かどんなふうに市長ご自身はお考えですかね。

河村市長：私はNHKテレビ見てびっくりこきましたのがびっくりきたわ。正直言って、正直にいwanaあかん物事は、これは本当にもう74にもなってですね。ようけの皆さんが待ってるの名古屋城ができるの。これ、頼むわ。市民の期待というのをぜひ石垣部会の方はわかって見えると思うけど、これから文化庁本庁もそうですけど、やっぱり地元の市民というか国民というか住民というか、気持ち。ほれはわかって欲しいんですよ。

石垣というのは非常に難しいものであると。これは実際なわけですよ、これは。非常に難しい。決まったその決まった石でもブロックに切ってますね、そういうものならまだいいですけど、その自然石を順番に進んでいくわけだから、これがどういうふうに構造的に危ないのかそのままいけるかっていうのは、非常に難しく単一的でこうだという議論はないと聞いておりますわね私。

そんなから出てきたのが、定点観測をして石にですね、そこから一定の距離のそこからその見て、上下左右、それ移動しとるかどうかというふうに見てそれが移動してなければ、仮にそれがはらみあったとしてもそれは安定しとるという考えると、いうことになるが僕は僕が勉強したところでは、そうですから石そのものの構造耐力、これはそのもので測ってはいけなと書いてありますねこれ、本には。なぜかといったら、あのコンクリートブロックなどがああいうのと違って石を、本当にどこまでやると壊れるかどうか、実際どっか取ってますね、実はそれに圧力かけられたらバラバラなって壊れちゃうじゃん。

そのときにもう復元できませんのでこれ。だからそういう大変な困難もあるということはおわかっておりますけど、そんな中では最善の努力をしましてですねこれ。丁寧な上にも丁寧に、専門家の皆様のご議論を経て文化庁に持っていくということでぜひそういう名古屋市民の期待というのは、やっぱりね。イコモスの方々が何か言ってましたよやっぱり住んでる住民の気持ちでなものですごいでかいよ。文化のあり方において、とわしは思うんだけどな。はよう作ってちょうだいよと、なんとかね精一杯の努力をさせていただきますけど、これ、という感じですけど。

NHK：市長、石垣の保存の議論非常にその難しく時間かかるっていうのを、この部会に行っすごくわかったんですが、一方であの市民の方からすると、あの市長、従前からおっしゃったようにもう早くなくなっちゃうから早く建ててくれって言うてる人もかなりいる中でこれまでに何度か期限というのが設けられて説明されてきたわけで、今名古屋市のリーダ

ーとして河村市長いらっしゃるわけですが、今回3月少し超えたらすぐ決まるのかもわからないしそんなにどれぐらい時間これからかかるかわからないですが一旦この3月末というところまでに、その石垣がまとまらないことについては、市長ご自身は市民に対して、なんかどんな気持ちを抱いていらっしゃるかというか、要は、職員とか担当者が、これでまとまらないとか有識者が話がまとまらないかっていうんじゃないで、名古屋市のリーダーとして、市長はこの事業がもう3月末で石垣の部分がまとまらないってことについて、市民に対してどんなふうに説明したらいいかっていうのは、

河村市長：まあ、いつきますけど、あんな名古屋市のリーダーだとおだててもらいましたけど、そんなリーダーというような立派な存在ではありませんけど。だけどころやって800万が給与で頑張らさしてもらってるということからそりゃまあ申し訳ないなど。

本当に市民の一刻もはよう作って、死ぬ前にいっぺんあがらしてちょうよ。

ないしがわからんでもいいけど、いよいよ本物ができたのかと、これ。日本で世界で初めてですよ、この図面も完璧に残ってるやつ。

それと、この大谷さんの松もありますけど、全部国産材であると。

ということについて、その期待にもう一刻も早く答えたいんだけどそうならんことには、申しわけないの一言です。

この記者会見を通じて、有識者の皆さん、そしてまた文化庁にも、ぜひそういう名古屋人の名古屋の人々の期待というやつは、ぜひ理解してほしいと。

と思いますそれ以上いせんもん。わしは。ということです。

なんだった？

名古屋城：すいません名古屋城です。

今回今週ですね、水曜日に天守閣部会、金曜日に全体整備検討会議を予定しております。

その中でですね、我々の方で、今の状態のものを資料として提出するわけですが、おそらくその中でも、有識者の方からご指摘はあるかと思しますので我々はその部分についてはしっかり修正加除修正をしていきたいというふうに思っております、年度末にですね、その検討結果ということで、取りまとめはします。

ただバリアフリーだとかあるいは今の今回の石垣の保存方針、そういったものはですね、引き続きやっていく必要があるかと思っております。

ただ、この石垣部会につきましては、先ほども説明させていただいたように、非常にあの、名古屋市に対して協力的で、心配していただいているところがありますので、早急にですね、ご指導賜りながら、その部分を整えていきたいということなので、できるだけ早くそのあの計画をまとめますし、できるだけ早く木造復元を実現していきたいというふうな思いで取り組んでおりますのでご理解をお願いいたします。

河村市長：まああの現在の技術においては、石垣をどういうふうに保ってるかということについては、世界最高の水準の技術を持って、調査、対応に当たらせていただいております。これって断言してええだろこれ。

名古屋城：そういうことで対応している

河村市長：有識者も日本代表する人は入ってもらっとるし、これからいろんな意味で科学的ないろんなもんとか、それも最高の医療でいやあ治療方針ですよ医療でいえば、そういう対応をさしていただいて、

名古屋市民の皆さんの夢というか希望というのかに答えようとしとると。わしは。

日本国民全体もそうですよ国宝1号だったんだからこれね。

まあ外国人が見たらびっくりするんじゃないか戦争で燃えてまったやつがこんなふうに昔のままに戻るんですか言って、これ燃えちゃったやつが、と思いますよ、これ。

大谷さんのサインもあるし、